

# 大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

URL : <http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/index.htm>

〒 621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条1-1 京都学園大学図書館 大館和郎気付

(TEL) 0771-29-2292 (FAX) 0771-29-2299

## 大図研京都支部総会に参加を！

9月19日(木)

京都支部会員のみなさん、

7月6日におこなわれた京都ワンディセミナーのために延期になっていました京都支部総会を下記の要領で開催します。

会員の皆さんの積極的参加をお願いします！

### 記

日時：9月19日(木)午後7時から

会場：キャンパスプラザ(JR京都駅前)

2階 和室

### <お知らせ> 京都ワンディセミナー 第2弾！

日時：10月5日(土)14:00-17:00

会場：京大会館 211号室

詳細は次ページをご覧ください。



目次	京都支部総会案内.....1頁
	京都ワンディセミナー案内.....2頁
	第25回総会議案.....3頁
	第2回国際図書館学セミナー案内.....6頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで編集気付 (odate@kyotogakuen.ac.jp) 大館まで

大学図書館問題研究会・京都ワンディセミナー

## 韓国における大学図書館のアウトソーシング

広がりつつある大学図書館業務のアウトソーシング。大学図書館におけるビジョンの明確化と業務分析が今ほど求められているときはないといっても過言ではありません。金先生は、アウトソーシングを実施する時に参考となる基本方針を提示することを目的に、釜山市及び慶尚南道の大学図書館におけるアウトソーシングについて調査・研究されています。韓国の大学図書館におけるアウトソーシングの現状を知り、日本においても今後どのような形でアウトソーシングをとり入れていくことが望ましいのか、議論を深めていきたいと思えます。どなたでもご参加いただくことができますので、たくさんの方のご参加お待ちしております。

**講師:** 金英貴氏(新羅大学助教授・京都大学大学院教育学研究科招聘外国人)

**司会:** 川崎良孝教授(京都大学大学院教育学研究科図書館情報学)

**日時:** 2002年10月5日(土) 14:00-17:00

**会場:** 京大会館211号室(地図)

JR京都駅から

・市バス17号系統(錦林車庫行) 荒神口下車 徒歩約6分

・市バス206号系統(祇園高野経由北大路行) 京大正門前下車 徒歩約10分

・地下鉄烏丸線・東西線乗り継ぎ 三条京阪下車、京阪電車出町柳行 丸太町駅下車 徒歩 約10分

京阪電車三条駅から

・京都バス 出町柳経由系統 荒神橋下車 徒歩5分

**会費:** 500円(会費は当日徴収させていただきます)

**主催:** 大学図書館問題研究会京都支部

京都大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室

\* 各セミナー終了後、懇親会を予定しています。

参加を希望する方は京都支部のホームページから申し込んで下さい。

<http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/dtkkseminar2002.html>

## 大学図書館問題研究会

## 第25回京都支部総会議案

## 【第1号議案】2001年度活動総括 及び

## 2002年度(2002.7～2003.6)活動方針

はじめに

昨年発足した小泉内閣は、「構造改革」の旗印のもと、競争主義を原理とした文教政策を強力に押し進めようとしています。国立大学の再編・統合、国立大学の法人化など、国立大学をめぐる情勢の変化が目立っていますが、私立大学への影響も無視することができません。「21世紀COEプログラム」によって、わが国の大学全体が文部科学省統制下の競争に巻き込まれるとともに、私立大学への直接助成によってここにも競争原理が貫徹されていきます。この結果、一部の重点分野に資金が投入される以外は、効率化の名のもとに切り捨てられていく可能性があります。もちろん、大学の一部署である図書館もこのことと無関係であるはずもなく、現場の図書館員は、予算と人員の抑制の中で、サービスの多様化、高度化を迫られています。このような時にこそ、ひとりひとりの専門的力が問われますが、私立大学では図書館員の配転が常態化し、現場での経験の蓄積というものが成り立たないという状況になっています。また専任職員はマネジメント業務に担当し、派遣職員や臨時職員が実務を担当するという構図が拡がりつつあります。

こういった困難な条件の中で、個々の図書館員の能力のレベルアップをはかるためには、雇用形態を問わず、すべての図書館員が協力し合い、情報の交換や研修の機会が継続的に提供されることが必要です。そのことが結果として利用者へのサービス向上につながることを積極的にアピールしていかなければなりません。また、幅広い人的ネットワークを、利用者や書店・出版関係者とも積極的に交流し、良好な協力関係を築いていくことが必要です。

大学図書館問題研究会京都支部では、このような状況を踏まえ、図書館員のより高度な力量形成に向けて活動を展開して来しました。

## 1. 2001年度活動総括

## (1) 京都ワンディセミナーの開催と会員間交流

昨年度からの連続企画である大図研京都セミナー 2001「ネットワーク環境下における図書館サービス」を好評のうち無事終了しました(2001年4月～2001年8月 延べ参加者数200名)。これを受け、2002年7月6日に京都ワンディセミナー「大学図書館における電子的情報の利用と提供」を開催しました。講師として、電子的情報の提供者側からは東北大学附属図書館事務部長坂上光明氏、利用者側からは京都大学工学研究科教授引原隆士氏に引き受けていただき、幅広い意見の交換が実現できました。今回は非会員の参加者が多かったことが特徴として挙げられます。

また5月25日には司馬遼太郎記念館見学会を開催しました。参加者からは、好企画という評価をいただきました。

## (2) 支部報

執筆者の確保については、いつも苦勞していますが、まず支部委員が積極的に執筆することを心掛けました。テーマとしては、「電子図書館」、「インターネット活用法」「データベース講習会」などが取り上げられました。また一般会員からの投稿やセミナー・見学会の感想など誌面の内容をバラエティに富んだものにすることができました。数珠つなぎは継続していますが、他支部への拡げることがまだ軌道に乗っていません。

現在、編集体制が十分でないため、支部報の発行に遅れが目立ってきています。内容面の充実とともに、編集体制の改善に努めます。

## (3) ホームページとメーリングリスト

7月6日に開催された京都ワンディセミナーでは、ホームページの申込欄を通しての参加者が多かったです。

メーリングリストについては、支部委員会報告や行事の案内などコンスタントに情報を会員に提供するように努めてきました。

## (4) 組織活動

会員数は91名（2001年6月現在）から85名（2002年6月現在）と減少しています。

会員の獲得については、あらゆる機会をとらえ、積極的に勧誘を努めていますが、退職による退会者が上回ったかたちになっています。引き続き、組織的な取り組みが必要です。

## (5) 財政活動

財政活動については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行っていますが、2001年度会費の納入率は6月現在で82%です。

## 2. 2002年度活動方針

### (1) 研究活動のさらなる発展と会員間のコミュニケーションの重視

今年度も会員のニーズに応えた研究活動の充実をはかり、会員の専門的・力量形成に役立っています。具体的なテーマとして、視野を海外に広め、海外の図書館の動向をとりあげます。また会員間のコミュニケーションを促進するため支部報の発行、ホームページの充実など、一層の努力をします。

積極的に会員間の交流の機会をつくることに努めます。

### (2) 支部報について

編集体制を改善し、定期発行に努めます。

会員の多様なニーズに応え、各人のスキルアップに貢献できる内容になるよう努力します。

読みやすい紙面づくりを心がけます。

できるだけ多くの人に執筆していただけるよう努力するとともに、投稿規定も整備します。

### (3) 会員を増やす活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。特に若手の会員を増やし組織の若返りをはかることを重視します。

そのために魅力ある企画を立てるように努力します。

### (4) 会費を全員が前納します。

会員としての義務である会費納入を全員が確実に行いましょう。

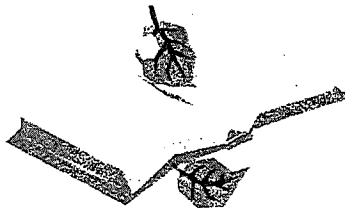
財政活動を一層前進させるため、支部委員会において、毎回担当者から報告と提案を受け、全員で取り組みます。

また、個々の会員に積極的に声をかけ、会費納入をはたらきかけます。

(以下の議案は当日配布)

## 【第2号議案】2001年度決算報告活動総括 及び 2002年度予算及び会計監査報告

## 【第3号議案】2002年度支部役員選挙



\* 日本図書館研究会より下記行事の掲載依頼がありましたのでお知らせします。

## ◆第2回 国際図書館学セミナーのお知らせ◆

— 日本図書館研究会・上海市図書館学会・大阪市立大学学術情報総合センター共催 —

10月16日（水曜）大阪市立大学学術情報センター

司会：志保田 務（桃山学院大学/理事）

通訳：＜日本側＞祖 国威（三重大学大学院）

＜中国側＞鮑 延明（上海図書館図書館学情報学研究所）

- 9:30 開会/理事長歓迎あいさつ/上海市図書館学会代表あいさつ・紹介
- 10:00 発表1 馬 遠良（上海図書館 前・館長/図書館学情報学研究所 顧問）  
「上海地域における図書館間の協力及び資源共有」
- 11:00 発表2 児玉 史子（国立国会図書館関西館 事業部図書館協力課長）  
「国立国会図書館新体制と国際協力の展開」（仮題）
- 12:00 昼食
- 13:00 発表3 周 徳明（上海図書館業務処々長）  
「上海市中心図書館のサービス管理」
- 14:00 発表4 柴田 正美（三重大学附属図書館 元・図書館長/人文学部教授）  
「日本における学術情報システムの新展開」（仮題）
- 15:00 休憩
- 15:15 発表4氏に対する質疑応答
- 16:15 （大阪市立大学）学術情報総合センター見学（希望者のみ）
- 17:30 交流会（閉会：19:30の予定）

10月17日（木曜）午前：京都府精華町立図書館/午後：国立国会図書館関西館

司会：国松 完二（滋賀県立図書館/理事）

通訳：前日と同じ

- 9:30 （元・精華町長の遺志による）パイプオルガン演奏
- 10:00 日中両国のライブラリアンシップの相互理解と発展のためのシンポジウム  
（発表者）日本側：三谷 久子（大阪府立中央図書館企画協力課長）  
「大阪府立図書館における図書館協力業務について」  
中国側：馬 遠良、周 徳明の両氏のほか、（フロアからの質問に応じて）  
倪 道敏（図書館理事会理事）、洪 軍（上海図書館労働組合（工会）副主席）、  
彭 建成（上海市中心図書館開北区分館長）、尹 美華（上海市中心図書館  
黄浦区分館長）の各氏が発言/回答 または 代表者が発表する予定。
- 12:40 挨拶 澤田 種治（精華町立図書館長） 図書館概要説明/館内見学/昼食
- 15:00 国立国会図書館関西館見学（現地解散：16:30の予定）

- ◆ 参加費は、会員（日本図書館研究会）2,000円、非会員 3,000円、学生 1,000円；第1日目の交流参加費は、5,000円の予定。その他、ご不明の点は、渡辺担当理事（TEL/FAX：075-251-3229）または西村研究委員長（TEL：0723-34-8060）にお尋ね下さい。